

## 『審判の手引き』改訂版対比表

朱字…追記箇所 青字…削除箇所

※2015/10改訂版をお持ちの方は、青字を削除朱字を追記する

	ページ	箇所	最新 2024/10改訂版(表紙 オレンジ)	2015/10改訂版(表紙 水色)
1	P6	1.2②変更	ネットの頂上線は <b>水平に張るように務める。</b>	ネットの頂上線は水平で、コート面から180cmの高さとする。
2	P7	1.5①言回し 変更	審判台は主審が立った姿勢で判定し易い高さとする。(主審のワッペンがネットの頂上線以上の高さになるよう <b>努める</b> )	審判台は主審が立った姿勢で判定し易い高さとする。(主審のワッペンがネットの頂上線以上の高さになるよう <b>位置する</b> )
3	P8	2.3①追記・ 削除	協会及び都道府県ビーチボール協会が指定する大会は主審・副審・ <b>線審</b> は、協会が指定する公式審判服(以下「指定審判服」という。)を着用する。	協会及び都道府県ビーチボール協会が指定する大会は主審・副審は、協会が指定する公式審判服(以下「指定審判服」という。)を着用する。 <b>線審も指定審判服の着用</b> に努める。
4		2.3②追記	<b>半袖指定審判服に長袖インナーの着用を禁止する。</b>	②追記し、②→③、③→④と番号変更
5		2.3③追記	上記以外の大会でも、審判員は指定審判服の着用 <b>に努める。指定審判服の上衣の裾は下衣に入れ、襟を立てる事なくボタンを1つ以上留める事。</b>	上記以外の大会でも、審判員は指定審判服の着用 <b>に努める。</b>
6		2.3④追記	上位…審判服・ワッペン <b>半袖審判服を着用の際、長袖インナー着用は禁止。</b> 下衣…紺又は黒の無地の長ズボン <b>(スウェット・ジーンズ・作業ズボン等は不可)スラックスタイプ推奨</b>	上位…審判服・ワッペン 下衣…紺又は黒の無地の長ズボン
7	P9	2.5(C)追記	<b>頭部や頸部にタオル等の着用を禁止する。</b>	(C)→(d)変更
8	P13	3.5削除		(f)サービスがサービスエリア内で行われなかったとき。サーバーがサービスを行うときにサービスラインを踏むか踏み越したとき。 (g)→(f)変更 (h)サービス開始の吹笛後、5秒以内で行わなかったとき。 (i)→(g)変更
9	P17	4.8⑥追記	<b>⑥インプレー中に主審及び審判台に選手が触れた場合。</b>	
10	P20	7.3①追記	権限・質問を行えるのはそのチームの監督または主将どちらか一人 <b>かつ1プレーに一回</b> に限られる	権限・質問を行えるのはそのチームの監督または主将どちらか一人に限られる
11	P21	7.6⑤追記	<b>試合中にモップを使用する場合は選手が主審に申請し、副審が使用の可否を決定。副審立ち合いのもと使用する。</b>	
12	P39	(2).④変更	記録表に必要事項記載した後は、 <b>記録表と共にサービス順表を必ず手に持ちサービス順等の選手位置を毎回確認する事。</b>	記録表に必要事項を記載した後は、記録表をプレーに支障をきたさない場所に置く。(例:両足の間)
13	P41	記録表変更	現在のサーブ順表と記録表(得点記載部分)に分かれた物	サーブ順表と記録表(得点記載部分)に分かれる以前の物
14	P42	1.4変更	A級審判員は、次の競技大会の <b>主審</b> を行うことができる。	A級審判員は、次の競技大会の <b>審判</b> を行うことができる。